

富士薬品主催 Webセミナー

高尿酸血症と合併症

～ CVD 残余リスクとして薬剤介入を考える ～

日時

2024年8月5日(月) ①12:30～13:15

②19:00～19:45

演者

今田恒夫 先生

山形大学大学院医学系研究科
公衆衛生学・衛生学講座 教授

略歴

1990年 山形市立病院済生館・研修医(内科)
1992年 山形大学医学部附属病院・医員(第一内科)
1996年 山形県立日本海病院(内科)
1999年 英国ロンドン大学研究員(腎臓内科学)
2001年 山形大学医学部附属病院・助手(第一内科)
2005年 山形大学医学部附属病院・講師(第一内科)
2008年 山形大学内科学第一(循環・呼吸・腎臓内科学)講座・准教授
2017年 山形大学大学院医学系研究科公衆衛生学・衛生学講座・教授(現在に至る)



抄録

我が国の健診データによると、血清尿酸値と心血管疾患死リスクにはJカーブ現象が見られ、Treat to Target (尿酸値6.0mg/dL以下) の重要性が示唆されている。一方で、薬剤介入による腎アウトカムへの影響は一定の見解は得られていないが、これには背景因子の違いが関与している可能性が高く、近年は病態に応じた高尿酸血症治療が重要と考えられるようになってきた。キサンチンオキシダーゼ(XO)阻害薬のトピロキシostatでは蛋白尿に対する好影響が見られ、薬剤間によっても治療効果は異なることが示唆されている。CVD残余リスクとしての高尿酸血症の薬剤介入を実践する上で、これらの違いを押さえて治療していくことが重要なポイントである。

インターネット回線(ZOOM ウェビナー) を用いたご視聴のご案内

下記①または②の方法でアクセスできます。

【方法①】スマートフォンの場合

●下記 QR コードを読み取り頂く



下記を入力し講演にご参加ください。

- ・ご芳名
- ・メールアドレス
- ・ご施設名
- ・都道府県(プルダウンよりご選択)

8月5日(月) 12:30~13:15 / 19:00~19:45 富士薬品主催
Webセミナー

日時 2024年8月5日 12:30 PM、大阪、札幌、東京

ウェビナー登録

名* 姓*

名 姓

メールアドレス*

join@company.com

施設名*

都道府県*

選択

登録時に提供する情報は、アカウントオーナーおよびホストと共有されます。アカウントオーナーとホストは、その情報を規約とプライバシーポリシーに従って使用・共有できます。

登録

☆123 あ か さ

ABC た な は 空白

あいう ま や ら

検索

わ わ 、。!?

【方法②】PCの場合

●下記 URL よりアクセスいただき、上記の必要事項を入力し、ご参加ください

<https://qr.paps.jp/EsdXh>

ウェビナー ID : 869 7294 3000

お問い合わせ：【富士薬品】Webセミナー事務局
f-seminar@fujiyakuhin.co.jp